

令和5年度事業報告

概況

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という）は、5類感染症（以下「5類」という）へ移行し、社会では新型コロナの対応も様変わりしてきた。しかし、高齢者の生活を支援する福祉現場ではすぐに同様の対応を行うことには慎重にならざるを得ない状況の中で、新型コロナとインフルエンザが同時に流行し、昨年引き続き制限や制約を余儀なくされた1年であった。

また、令和6年1月1日に発生した石川県能登半島地震では多くの方々が被災される中、福祉事業を推進する当法人として、改めて事業継続計画（BCP）に添った災害時の対応の重要性を実感することとなった。

さらに、国際情勢の不安定等に起因する物価高騰の影響は法人経営を直撃し、また人材の不足等もあり年度当初の事業稼働率目標が達成できなかった。加えて予期せぬ建築物の緊急修繕等が重なり、安定した事業経営とは言えない状況であった。

法人全体の収支は、当期資金収支差額においては昨年に引き続き8,900,039円の黒字となったが、収入の中には物価高騰による支出増を補う目的の国等の原油価格物価高騰対策の補助金約11,200千円が含まれており、事業収益が大きく改善した結果の増収ではなかった。さらに事業別に見ると年度当初の稼働率目標を達成できたのは従来型特養のみであり、それ以外は目標率に対し98%～66%の達成に留まった。しかし、このことは年度当初の事業計画、稼働目標に向かってしっかり事業推進すれば経営の安定化につながることを意味しており、健全経営に向けさらに注力していかなければならない。

特に、開設当初より経営状況が思わしくなかった古市サービスステーションには、本年度もやすらぎ園拠点区分より昨年度を上回る13,500千円を繰り入れなければならない状況となった。このような拠点区間の繰り入れ金が常態化していることは大きな問題であり、古市サービスステーションの経営改善は喫緊の課題である。さらに、拠点区分内で見ると、通所介護の赤字は顕著であり、今後施設の老朽化による改修等を行わなければならない中、通所介護サービス事業の経営改善についても大きな課題となっている。

しかしそのような中でも、事業を担う職員の確保のための魅力ある職場環境づくりの一環として、就業規則や給与規程等を見直すことにより職員の処遇改善を図ったことは特筆できる。

1. 重点項目への取り組み状況

(1) 経営の健全化に向けての組織改革を行う

4月より新たな組織体制として4部（特養部、在宅部、業務部、相談部）体制で業務を進めてきたが、令和6年1月に再度組織体制を見直し3部（特養部、在宅部、業務部）体制とした。

(2) 利用者に寄り添ったサービスを提供する

新型コロナ感染防止のため多くの自粛や制限を継続する中でも利用者一人ひとりに寄り添い、その人らしい生活の支援やサービスの提供を心掛けた。特にご家族との直接面会を5月の5類に移行後は、時間や人数の制限を設けながらも再開した。

(3) 職員の確保と離職の防止に努める

10月に兵庫県の最低賃金の改正が行われたこともあり、非常勤職員の賃金改正を行うとともに、魅力ある職場づくりや職員の悩み事や相談等に対応できる組織体制で、職員の離職防止に努めた。さらに、処遇改善加算等を活用した職員給与の改善に加え、65歳定年制やリフレッシュ休暇の導入など、職員の処遇を改善し定着化に努めた。

(4) 研修等を通じて職員の知識、技術力の向上を図る

認知症介護実践研修やユニットリーダー研修、また兵庫県老人福祉事業者協議会や丹波篠山市介護保険事業者協議会が主催する外部研修(オンライン研修含む)に積極的に職員を参加させ、知識、技術力の向上を図った。

(5) 地域社会に貢献する事業を実施する

社会福祉法人の使命の一つである「地域貢献事業」については、コロナ禍で十分な活動はできなかったが、丹波篠山市社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット丹波篠山)への参画や丹波篠山市社会福祉協議会事業に積極的に協力した。

2. 法人運営

(1) 理事会

開催日時・場所、招集日	出席理事	協議事項等	欠席者名	議事録署名人
第1回 6月5日 10時50分 やすらぎ園 招集日 5月4日	芝拓哉 波多野誠 松本修大 谷口弘 畑由美子	(議案) 1 令和4年度事業報告及び決算 2 社会福祉充実計画 3 任期満了に伴う役員候補者の選定及び評議員会への方保社の推薦 4 退任に伴う評議員選任・解任委員会委員の補充 5 任期満了に伴う第三者委員の選任 6 給与規程の改正 7 令和5年度第1回評議員会の招集 (報告) 1 令和4年度会計予備費の使用	波多野恭守	芝拓哉 (監事) 濱道由美 三宅利裕
第2回 6月19日 13時50分 やすらぎ園 招集日 6月5日	芝拓哉 波多野誠 波多野恭守 松本修大 谷口弘 畑由美子	(議案) 1 理事長の選定	なし	出席理事 全員 (監事) 濱道由美 三宅利裕

第3回 9月25日 10時45分 やすらぎ園 招集日 8月22日	芝拓哉 波多野誠 波多野恭守 松本修大 谷口弘 畑由美子	(議案) 1 定款施行細則の改正 2 非常勤職員就業規則の改正 (報告) 1 理事長職務執行状況報告 2 理事長専決事項報告	なし	芝拓哉 (監事) 濱道由美 三宅利裕
第4回 12月4日 10時50分 やすらぎ園 招集日 11月9日	芝拓哉 波多野誠 波多野恭守 谷口弘 畑由美子	(議案) 1 令和5年度第1次補正予算案 2 居宅介護支援事業所運営規程の改正 3 経理規程の改正 (報告) 1 社会福祉法人指導監査結果	松本修大 (監事) 濱道由美	芝拓哉 (監事) 三宅利裕
第5回 1月15日 10時30分 やすらぎ園 招集日 11月9日	芝拓哉 波多野誠 波多野恭守 松本修大 谷口弘 畑由美子	(議案) 1 給与規程の改正 2 役員等旅費規程の改正 3 役員等報酬規程の改正 4 業務執行理事の選定 5 令和5年度第2回評議員会の招集 (報告) 1 特別養護老人ホームやすらぎ園組織改正 2 感染症対策指針 (その他) 1 令和6年度事業についての意見交換	(監事) 三宅利裕	芝拓哉 (監事) 濱道由美
第6回 3月11日 10時00分 やすらぎ園 招集日 2月12日	芝拓哉 波多野誠 波多野恭守 谷口弘 畑由美子	(議案) 1 令和5年度第2次補正予算 2 令和6年度事業計画(案)及び予算(案) 3 就業規則及び嘱託職員就業規則の改正 4 給与規程及び給与規程施行細則の改正 5 非常勤職員就業規則の改正 6 介護老人福祉施設運営規程等の改正 7 やすらぎ園事業継続計画(BCP)の策定 8 役員等賠償責任保険契約 9 令和5年度第3回評議員会の招集 (報告) 1 理事長職務執行状況報告 2 虐待防止指針	松本修大	芝拓哉 (監事) 濱道由美 三宅利裕

(2) 評議員会

開催年日時、 場所等	出席評議員	協議事項等	欠席者名	議事録 署名人
第1回 6月19日 10時55分 やすらぎ園 招集日 6月5日	永井孝喜 原田勇 酒井一行 松岡四郎 青木恵子	(議案) 1 令和4年度事業報告及び決算 2 社会福祉充実計画 3 理事及び監事の選任	石黒久雄 前嶋弘	永井孝喜 酒井一行 (議長) 原田勇

第2回 1月29日 10時55分 やすらぎ園 招集日 1月15日	永井孝喜 原田勇 酒井一行 松岡四郎 石黒久雄	(議案) 1 役員等報酬規程の改正 (報告) 1 令和5年度第1次補正予算 2 業務執行理事の選定 3 特別養護老人ホームやすらぎ園組織改正 4 感染症対策指針	青木恵子 前嶋弘	松岡四郎 石黒久雄 (議長) 酒井一行
第3回 3月25日 10時00分 やすらぎ園 招集日 3月11日	永井孝喜 原田勇 酒井一行 松岡四郎 青木恵子	(報告) 1 令和5年度第2次補正予算 2 令和6年度事業計画及び予算 3 事業継続計画 (BCP) 4 就業規則等諸規程の改正	石黒久雄 前嶋弘	永井孝喜 原田勇 (議長) 青木恵子

(3) 監査等

① 監事監査

実施日：5月25日(木) 9:30~12:00

実施場所：特別養護老人ホームやすらぎ園

監査内容：令和4年度事業実施状況及び会計執行状況

② 社会福祉法人指導監査

実施日：11月16日(木) 10:00~15:00

実施場所：特別養護老人ホームやすらぎ園

監査担当者：丹波篠山市長寿福祉課(3名)、公認会計士

内容等：丹南厚生会の組織運営及び会計管理等について

指摘事項：文書指摘・・・なし

口頭指摘・・・組織運営関係1件、会計管理関係4件

助言・・・・・・2件

③ 実地指導(丹波篠山市長寿福祉課)

実施日：10月12日(金) 10:00~12:00

実施場所：特別養護老人ホームやすらぎ園

内容等：居宅介護支援事業

指摘事項：口頭指摘・・・3件

(4) 役員研修会

丹南厚生会役員の資質向上等を目的に、役員研修会を開催した。また、講師の意向により丹波篠山市内の社会福祉法人及び丹波市の高齢者施設関係者にも参加案内を行った。

開催日時：令和5年11月27日(月) 13時30分~15時

開催場所：四季の森生涯学習センター東館

テーマ：社会福祉法人の役割と今後の法人経営を考える

講師：兵庫県社会福祉法人経営者協議会副会長(社会福祉法人やながせ福社会理事長)

石田文徳 氏

参加者：41名（丹南厚生会関係者24名、その他17名）

3. 会議・委員会等の開催

(1) 会議

① 経営会議

法人経営を適切に進めるため、事業の進捗管理及び懸案事項の協議等を定期開催した。

出席者：理事長、施設長、事務長、各部長

開催日及び回数：令和5年4月3日～令和6年3月28日 延50回

② 役職者等会議

各部門の調整や組織の方針や目標を浸透させる場として開催した。

開催日：5月1日(月)出席者：主任以上の管理・監督職

③ スタッフ会議

年度当初の全職員が参加する全体会議として5月1日に開催した。

令和5年度の職員代表：岡容子（介護職、主任）を選出

④ 部門別会議

従来型、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所など部門ごとに課題解決や情報の共有やケアカンファレンスの場として概ね毎月開催した。

(2) 委員会等

① 身体拘束廃止委員会：5回開催

② リスクマネジメント委員会：2回開催

③ 事故防止対策委員会：31回開催（従来型特養17回、ユニット型特養14回）

(3) 研修会

① 内部研修

ア. 身体拘束研修会

第1回：4月3日(月)

第2回：10月13日(金)

内容：「身体拘束廃止のための5つの指針」「緊急時の身体拘束 3つの要件」
「虐待・身体拘束チェック表」

イ. 事故防止研修

第1回：4月3日(月)

内容：写真から事故予想をし、内容、対応等をグループで討議

第2回：10月13日(金)

内容：写真から事故予想をし、内容、対応等をグループで討議

事故報告書、ヒヤリハット報告書の確認及びヒヤリハットの重要性

ウ. 感染症予防研修

第1回：12月13日(水)

内容：感染及びまん延防止研修（感染症発生時の対応訓練）

第2回：2月12日（月）

内容：「感染症とは」「細菌とウイルス」「感染症の広がり方と予防策」
「いろいろな感染症」「消毒」

エ. 新任職員用時研修

随時開催

内容：職場概要、職業倫理と行動基準、感染予防、人権・尊厳・守秘義務など

② 外部研修

研修名等	参加人数
喀痰吸引研修	4
認知症基礎研修	2
ユニットリーダー研修	1
BCP策定講座	1
介護ICT体験フェア	2
会計実務講座	1
社会福祉法人会計講座	1
介護支援専門員更新研修	2
認知症介護実践研修	1
認知症対応型サービス事業者管理者研修	1
社会福祉法人研修会(オンライン)	2
兵庫県老人福祉事業協会デイ部会職員研修(オンライン)	4
兵庫県老人福祉事業協会特養部会研修(オンライン)	2
地域公益活動推進セミナー	1
介護サービス事業者協議会全体研修	1
老人福祉事業者協議会施設長研修会	1

(4) 計画等の策定

社会福祉施設等に義務付けられている計画及び指針を策定した。

* 感染症対策指針

* 虐待防止指針

* 事業継続計画（BCP）

4. 事務局及び共通部門

(1) 総務

① 職員確保

今年度も積極的に採用活動に努めた。紹介会社経由での採用が大半であったため、約5,000千円の紹介手数料を使用せざるを得ない状況であった。一部パート採用において、

試用期間内での退職者も見られたが、概ね戦力として活動している。

また、職員紹介制度の報奨金内容も見直し、より魅力ある形に変更し職員へ周知した。

② ホームページの全面リニューアル

10月より現行ホームページの見直しに着手し、内容を刷新したうえで12月1日より全面リニューアルを行った。リニューアルに伴いアドレスも変更、またブログ欄や広報誌の紹介なども新たに発信し、施設の積極的「見える化」を図った。

アドレス (sasayama-yasuragien.com)

(2) 栄養調理

やすらぎ園全体での行事である「ふれあい納涼祭」「敬老会」「新年祝賀会」等においては、利用者に各行事の趣旨を感じていただく食事提供を行った。

また、従来型特養利用者への喫茶メニューのほか、ユニット型特養及びデイサービス利用者に対してはおやつ作りも実施した。

(おやつ作り状況)

月	ユニット型特養	デイサービス
4	イチゴのパウンドケーキ	よもぎ団子
5	フルーチェ(フルーツ添え)	桜餅
6	抹茶プリン	小倉ホットケーキ
7	そうめん流し	アイスクリームパフェ
8	抹茶パウンドケーキ	わらび餅
9	中止(感染症防止のため)	中止(感染症防止のため)
10	中止(感染症防止のため)	中止(感染症防止のため)
11	中止(感染症防止のため)	中止(感染症防止のため)
12	餅つき	クリスマスケーキ、ウインナーコーヒー
1	ブルーベリーチーズケーキ	栗きんとん
2	濃厚チョコパウンドケーキ	ロールケーキ、ウインナーコーヒー
3	中止(感染症防止のため)	中止(感染症防止のため)

(3) 新型コロナ感染対策

前回のクラスター発生を教訓として感染予防研修を開催するとともに、全職員に検査キットを配布し、必要に応じ就業前自己検査を実施し感染予防に努めた。

また、5月に5類に移行後も感染予防に努めたが、8月に施設内でクラスターが発生した。しかし、今回は前回のような大事には至らなかった。

(4) 行事

① ふれあい納涼祭

開催日：8月27日(日) 15:30~19:30

開催場所：やすらぎ園本館及び新館

参加者：やすらぎ園入所者、職員

内容：催し物（デカンショ踊り、ゲーム、屋台）、花火等

② 敬老祝賀会

開催日：9月18日（月・祝）

③ 新年祝賀会

開催日：1月1日（月・祝）

④ 職員忘年会

感染症防止のため本年度も中止し、代替品等を配布した。

(5) 消防（防災）訓練

① やすらぎ園（通報訓練、避難訓練、消火訓練等）

（第1回）5月30日（火）、（第2回）10月31日（水）

② 災害発生時システム訓練（県主催）に参加

③ 古市館消防訓練

（第1回）9月14日（木）、（第2回）3月21日（木）

④ 丹波地域防災総合訓練（丹波篠山市サブ会場）参加

9月3日（日）於：和寿園、福祉避難所設置訓練

(6) 兵庫県老人福祉事業協会

丹波ブロック老人福祉事業協会より県老人福祉事業協会のデイ部会担当となり、県事業に参画するとともに、丹波ブロック事業にも積極的に参加した。また、要請により能登半島地震義援金として50,000円を協力した。

(7) 職員組織体制の再改編

令和5年度より4部体制で組織運営を行ってきたが、令和6年1月1日より再度3部体制（特養部、在宅部、業務部）に改編した。

(8) 能登半島地震関係

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対し、次のとおり支援等に取り組んだ。

① 義援金：法人として兵庫県老人福祉事業協会を通して50,000円を協力（国より特例措置の通知あり）

② 募金箱の設置：施設内に募金箱を設置し、職員等に対し支援金等を募った。（期間：1月～3月末）募金（9,830円）は丹波篠山市共同募金会を通じ被災地に送った。

③ 職員派遣：県等の被災地への職員派遣要請に対し、施設内で募集したところ3名の応募があったが、派遣期間の調整ができず登録には至らなかった。

5. 事業実施状況

(1) 従来型特養、短期入所生活介護

① 評価

利用者の死亡退所や医療ケアが必要となったことによる退所など利用状況が変化中、長期利用者の体調不良や高齢化による身体機能低下、さらに看取り希望をされている利用者の看取りケアなど、介護の量や質は変化、増加してきている。そのような状況の中、稼働率については、職員の入退職や異動等による状況変化やそれに伴う介護職員不足の時期もあったが、相談室との連携や職員間の連携協力により、契約入所の受け入れはスムーズに行うことができ、空床期間も短く目標を達成することができた。ただ、8月に新型コロナのクラスターが発生したことで短期入所の利用制限を行ったことにより、短期入所の目標は達成できなかった。

また、目標値の一つとしていた入院日数180日も255日となり、今後さらに看護職など多職種との連携を取り、体調不良の早期発見や事故等による入院が防止できるよう努めていきたい。

② 重点項目の取り組み、評価

ア. 挨拶・言葉遣い・態度・気遣いに配慮し、より良い職員環境にしていく

挨拶、気遣いに関しては常に意識し概ね実行できた。しかし、業務が慌ただしくなった際には態度や言葉遣いに問題が見られることもあった。引き続き、職員の負担軽減を図りながら、利用者により添ったサービスが提供できるよう職場改善に取り組んでいきたい。

イ. 感染症の理解、予防対策の徹底

医務主催の感染症研修やガウンテクニック等の予防研修を実施したが、新型コロナのクラスター発生時には、多くの職員の罹患があった。今後も職員が媒体とならないよう、平時より感染に対する意識を持つことを徹底していきたい。

ウ. 新人、中途採用者の育成、育成する側のスキルアップ

組織改正に伴い職員育成に向けた研修やマニュアル作成を行い、新規採用職員に対し、役職者や一般職を含めた指導チームを発足した。また、指導者を固定化したことでチーム内の連携も取りやすくなり、入職者の混乱も軽減できるよう入職前にマニュアル確認をするなどチーム内での会議を開催した。マニュアルに沿って研修を行う中で課題や改善があれば、都度検討を行いより良い研修体系を確立していきたい。

③ サービス状況、事業内容、特徴的な事項

ア. 季節の行事（お花見ドライブ、お茶まつり、クリスマス会など）は感染状況などを考慮しながら、利用者に喜んでいただけるよう実施した。季節行事のほかに余暇時間には、個別支援（塗り絵、パズル、計算ドリルなど）を実施したが、次年度は集団レクリエーション等を企画し、充実した一日を送っていただけるよう支援したい。

イ. 身体機能維持のため、理学療法士によるリハビリを実施した。また、理学療法士に相談、協力を行うことで、ポジショニングによる姿勢の改善や拘縮予防にも効

果が見られた。

ウ. 多職種や部署内の職員の連携協力により、個別ケアに取り組んだ。

④ 実利用者数（定員 58 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	14
介護2	5	5	5	6	6	6	6	5	6	7	5	6	68
介護3	16	17	17	15	16	17	19	18	18	19	20	19	211
介護4	20	20	22	17	17	15	17	15	18	19	18	20	218
介護5	16	16	16	20	19	20	15	14	15	14	14	14	193
計	58	59	61	59	59	59	58	53	58	61	59	60	704

⑤ 延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	62	58	31	426
介護2	150	155	150	186	186	180	186	150	186	167	145	186	2,027
介護3	480	511	498	439	457	472	555	548	558	564	580	589	6,251
介護4	600	596	496	527	503	450	526	565	549	546	521	565	6,444
介護5	455	496	552	603	589	532	450	423	462	434	406	434	5,836
計	1,715	1,789	1,726	1,786	1,766	1,664	1,748	1,716	1,786	1,773	1,710	1,805	20,984
ベッド数	1,740	1,798	1,740	1,798	1,798	1,740	1,798	1,740	1,798	1,798	1,682	1,798	21,228
稼働率	98.6%	99.5%	99.2%	99.3%	98.2%	95.6%	97.2%	98.6%	99.3%	98.6%	101.7%	100.4%	98.9%

⑥ 入退所者、入院者数等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
退所数	0	0	3	2	1	2	2	2	1	3	0	1	17
入所数	0	1	2	1	2	1	2	3	0	4	1	1	18
入院者	1	2	2	0	2	4	3	0	1	1	1	2	19
延入院日数	25	24	19	0	22	71	34	0	9	25	1	25	255

⑦ 短期入所生活介護（定員 12 名）利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	5	0	3	5	4	4	4	0	0	25
要支援2	0	0	0	0	5	10	9	8	12	2	0	0	46
介護1	5	6	0	6	9	20	4	12	20	14	28	19	143
介護2	91	76	76	73	80	76	93	87	77	84	108	91	1,012
介護3	149	163	130	132	110	77	77	119	130	90	55	45	1,277
介護4	33	30	4	4	4	14	44	29	23	29	17	55	286
介護5	32	39	45	28	30	29	32	32	29	27	41	51	415
計	310	314	255	248	238	229	264	291	295	250	249	261	3,204
ベッド数	360	372	360	372	372	360	372	360	372	372	348	372	4,392
稼働率	86.1%	84.4%	70.8%	66.7%	64.0%	63.6%	71.0%	80.8%	79.3%	67.2%	71.6%	70.2%	73.0%
1日平均	10.3	10.1	8.5	8.0	7.7	7.6	8.8	9.7	9.5	8.1	8.9	8.4	8.8

⑧ 短期入所生活介護 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	6
要支援2	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	6
介護1	2	2	0	2	2	2	2	3	5	3	7	6	36
介護2	9	6	7	6	8	9	7	7	6	8	9	8	90
介護3	11	10	10	9	6	8	9	11	12	12	8	5	111
介護4	2	1	2	1	1	3	5	4	3	4	4	5	35
介護5	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	4	4	22
計	26	21	20	20	19	25	27	29	29	30	32	28	306

(2) ユニット型特養

① 評価

職員の確保もでき受け入れ態勢も整い、利用者に適切なサービスを提供できる体制が取れるようになった。4月当初は利用者28名からのスタートだったが、6月には30名の満床になり、前年度より稼働率は約6%アップしたが目標は達しなかった。また、職員間及び各部署との連携も取れ、利用者に寄り添った支援に努めて適切に事業を推進することができた。

8月にユニットでは初めて新型コロナのクラスターが発生し、利用者に身体的、精神的負担をかけた。この経験を教訓に今後も感染防止に努めていきたい。

② 重点項目の取り組み

ア. 業務の見直し、改善を行うことで業務効率を上げ、稼働率のアップに繋げる

ムリ、ムダな業務の見直しや検討を行い、残業時間の削減や業務効率向上に努め、積極的に利用者の受け入れを行い満床とした。入院や退所により稼働率アップにつながったが、目標値には届かなかった。

イ. 働きやすい職場環境づくりと離職者ゼロを目指す

新体制になったことで職員の意見や相談を持ち掛けやすい環境づくりに努めた。
また、自己都合による離職者が1名(常勤)あった。

ウ. コスト削減

今年度の業務見直しの一つとして残業時間の削減を揚げ、職員の意識改革に努め時間外による人件費の削減及び職員の負担軽減に努めた。また、物品購入時には職員間(組織内)でしっかり検討し、特に排泄物品については使用の見直しやコスト面を考慮した。結果、大きなコスト削減にはならなかったが、職員の意識向上につながった。

エ. 内部、外部研修の実施

新型コロナ等により外部研修にはなかなか参加できず、職員全体のスキルアップに繋げることはできなかった。内部研修にはできるだけ全職員が参加できるように努めた。(ユニットリーダー研修：修了者1名、介護福祉士取得1名)

③ 利用者の状況

言葉遣い、態度、気遣いなどに配慮するも利用者や職員より関わり方に対しての苦情や助言が聞かれた。利用者の状態把握に努め各部署と連携をとり、利用者が安心して生活が送れ、本人や家族の意向に沿ったサービスが提供できるよう努めた。安全面では、事故防止、ヒヤリハットの防止に努めるも、同一人物、同様の事故が続き課題が残った。

④ 実人員(定員30名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
介護3	8	8	9	8	8	8	8	8	9	10	10	9	103
介護4	9	10	11	12	12	13	12	12	12	11	11	11	136
介護5	11	10	10	9	9	9	8	8	8	8	8	9	107
計	29	29	31	30	30	31	29	29	30	30	30	30	358

⑤ 延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
介護3	240	248	224	248	245	219	236	240	258	310	290	279	3,037
介護4	238	287	333	358	363	358	372	346	348	341	319	341	4,004
介護5	316	310	277	279	279	242	237	234	248	248	210	267	3,147
計	824	876	864	916	918	849	876	850	885	930	848	918	10,554
ベッド数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	870	930	10,980
稼働率	91.6%	94.2%	96.0%	98.5%	98.7%	94.3%	94.2%	94.4%	95.2%	100.0%	97.5%	98.7%	96.1%

⑥ 入退所者、入院者数等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
退所数	1	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	6
入所数	1	1	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	8
入院者	1	0	0	1	3	4	2	2	2	0	1	1	17
延入院日数	6	0	0	14	12	23	43	44	40	0	22	12	216

(3) 相談室

① 評価

新型コロナが5類に移行後、コロナ禍で実施できていなかった行事や面会を状況をみながら再開し、利用者や家族に安心、快適に過ごしていただけるよう支援に努めた。入退所については各事業所と毎月連絡を取り、ロングショート利用者やショートステイ定期利用者、新規利用者そして入所者の確保に努めた。従来型特養、ユニット型特養も待機者に定期的に連絡し、入所日の調整を綿密に行い、空床日数の減少に努めた。

② 入所状況

入所判定会議を必要時に開催し、稼働率アップ、空床日数の減少に努めた。従来型特養は入院者や退所者が多かったが、満床の維持に努めた。ユニット型特養は、4月当初は28名であったが、6月には30名の満床となった。

入所実績： 従来型特養 18名（退所者17名）

ユニット型特養 8名（退所者6名）

③ 利用者の状況

定期外来受診やその他医務からの緊急受診要請については、家人対応を含め迅速に対応した。

④ サービス状況、事業内容、特徴的な事項

昨年まで新型コロナのため中止していた各種行事やボランティアの受け入れに関しては、音楽療法、ドライブ、紙芝居、演奏会を感染状況を確認しながら再開した。縫い物については昨年度より継続していたが、12月5日を最後にグループが解散されたため、社会福祉協議会を通して募集したが、グループ再結成の情報もあり、ボランティア新規開拓には至らなかった。

園芸は11月に玉ねぎを利用者と職員が一緒に行い、季節行事を楽しんだ。また面会については、直接面会を再開し遠方の家族にはオンライン面会も実施した。

(4) 医務

① 評価

昨年同様、感染予防を中心に発熱や症状のある利用者に対して検査を行うなどの対応に努めたが、8月に施設内に新型コロナ感染者が判明、45名が感染するクラスターが発生した。感染管理においては、前回の経験を踏まえて職員一丸となり利用者の健康

把握に努めた。体調が悪化した利用者は嘱託医と連携を取り、入院支援を行った。終息後も再発に備え、予防対策を継続した。また、ショートステイ等外部からの利用者については利用前に抗原検査を行った結果、3名の陽性者を確認し持ち込みを防止した。

平時は利用者の状態把握に努め、受診が必要と判断したときは多職種と連携し、回復に向けての早期対応を行った。緊急時の対応について、各部署との連携で家族への連絡体制確保したことにより、急変時の対応や救急搬送を速やかに行うことができた。

看護職員はパート職員が多数を占めており、統一した看護ができるよう時間を有効に活用し、情報共有や意見交換を行った。

② 利用者の状況

兵庫県健康財団による利用者の健康診断を4月に実施し、また血液検査の結果をもとに栄養改善等に努めた。

今年度は18名の利用者を看取った。DNR確認をもとに、嘱託医から家族へ状態説明を依頼し、他部署と連携、協力し最期まで利用者及び家族に寄り添った支援を行った。

③ 感染症予防の推進

ア. 入所者健康診断（兵庫県健康財団）4月

イ. 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種（6回目）5月、（7回目）10月

ウ. 肺炎球菌ワクチン接種（対象者）6月

エ. インフルエンザ予防接種（全員）11月

オ. 各居室に加湿器を設置（室温、湿度管理）11月～3月

(5) やすらぎ園デイサービスセンター

① 評価

異動等により職員が不足の状態であったが、利用者には変わらず細やかなサービスが提供できるように、業務の工夫や見直しを行った。また新型コロナの5類移行により、季節行事やボランティアによる行事を再開し、利用者を楽しんでいただいた。

② 事業計画での重点項目の取り組み状況

新規利用者獲得に向け、事業者協議会定例会やケアマネジャーとの交流会や研修会に参加するとともに、広報紙の配布を積極的に行った。下半期には徐々に新規利用者の兆しが見えたが、利用者の施設利用への変更や逝去、そして施設都合で10月の1か月間木曜日を休業せざるを得なくなり、利用者の減少となった。

季節行事や催し等は職員全員で企画し、利用者と職員が一緒に楽しめる行事ができた。また、ホームページのブログや広報誌を掲載し、これまで以上に情報が発信できた。

地域貢献の足掛かりとして、12月から味間奥クッキング教室に参加し、一緒に体操を行うなど積極的にコミュニケーションを図り、新たな交流や今後の行事参加へのアプローチができた。

③ 月別利用状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	27	26	26	26	22	22	26	26	26	25	26	303
登録者数	37	37	37	35	35	33	33	34	35	31	33	34	414
利用実人員	34	34	35	32	31	29	26	27	28	25	25	26	352
利用延人数	254	267	267	248	230	178	189	202	209	183	174	194	2,595
要 介 護 度	支援1	2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	1	9
	支援2	12	20	20	20	16	12	12	7	4	2	4	130
	介護1	69	81	83	81	80	68	77	89	99	94	102	1,033
	介護2	114	97	96	87	72	47	55	56	55	41	31	788
	介護3	34	40	40	34	37	28	28	24	26	22	13	333
	介護4	23	14	13	13	12	10	8	13	12	11	12	150
	介護5	0	13	13	13	13	11	9	13	13	13	12	152
利用率	56.4%	54.9%	57.1%	53.0%	49.1%	44.9%	47.7%	43.2%	44.7%	39.1%	38.7%	41.5%	47.5%

④ 季節行事等の開催・実施

月	内容等
4	お花見ドライブ (3/29日～4/4日)、おやつ作り (27日)、誕生日会
5	おやつ作り (26日)、誕生日会
6	おやつ作り (27日)、誕生日会
7	おやつ作り (24日)、誕生日会
8	おやつ作り (23日)、誕生日会
9	敬老会、誕生日会
10	運動会 (23～28日)、誕生日会
11	誕生日会
12	展示販売(1日)、クリスマス会 (ボランティア11日) おやつ作り (25日)、餅つき(30日)、誕生日会
1	おやつ作り (24日)、誕生日会
2	節分祭(3日)、おやつ作り (22日)、音楽会(ボランティア29日)、誕生日会
3	誕生日会

⑤ 研修会

月	内容等
11月	感染症対策研修
1月	この指とまれ研修
2月	通所サービス部会研修、権利擁護フォローアップ研修
3月	丹波ブロック老人福祉事業協会デイ部会研修

⑥ 広報・情報誌「茶の花通信」の発行

計5回 (3・4月号、7・8月号、敬老会・運動会特集号、1月号、2・3月号)

⑦ 運営推進会議の開催

(第1回) 新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面開催とし各委員に上半期の事業内容等を報告

(第2回) 開催日：令和6年3月21日(木) 14時00分～15時00分

場所：やすらぎ園談話室

(6) 小規模多機能型居宅介護センターやすらぎ古市館

① 評価

実登録者数は10～12名の間で推移し、目標値である15名には達することができなかった。利用状況については約9割が要介護度1～3の方で、要介護度が上がると施設入所の希望が多くなり、要介護度4以上の方の利用に繋がらなかった。

下半期には人員体制もようやく整い、これまで以上にご家族との連携を密に取り、利用者やご家族の要望に柔軟に対応できるよう調整できた。

5月に新型コロナが5類に移行したが、8月に利用者が2名感染し、またそれ以降も職員感染が確認されたが、その都度感染防止対策を講じたため拡大には至らなかった。

② 利用者の状況

昨年度末の登録者11名のうち独居の方が5名、家族との同居の方が6名という生活状況であったが、在宅での生活が長く続けられるよう支援した。新規利用については地域包括支援センターからの紹介が多くを占めたが、その中で利用に繋がらなかったケースは、重度で入浴が困難な方や宿泊数を多く希望される方であり、今後の課題となった。

③ サービスの内容

行事については古市地区の「カフェやすらぎ」や「文化活動発表会」等に参加し、地域とのつながりを図った。また、「桜の花見」「しゃくなげ鑑賞」「本郷のこいのぼり鑑賞」「大国寺と丹波茶まつり」「菊花展」等、季節の外出行事を行った。さらに、やすらぎ園デイサービスセンターとの合同イベントとして、「クリスマス会」「節分祭」を開催し、外出支援が増え、交流が図られた。

④ 月別実績状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	0.4
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護1	1	1	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3	35	2.9
要介護2	6	7	7	6	6	7	7	7	7	6	6	6	78	6.5
要介護3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	17	1.4
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
計	10	11	12	12	12	12	11	11	11	12	11	11	136	11.3
通い	165	187	197	197	181	184	201	212	209	179	163	178	2,253	187.8
泊り	36	42	38	38	27	28	30	35	49	31	19	27	400	33.3
訪問	35	40	34	35	49	38	61	55	45	40	79	93	604	50.3

⑤ 研修

*認知症介護実践研修：6月15日、20日、7月10日、26日、9月26日

*認知症対応型事業管理者研修：11月15日、21日、22日

- *感染症研修会(丹波篠山市介護サービス事業者協議会)：12月22日
- *兵庫県看護小規模多機能型居宅介護事業者連絡協議会研修：1月15日
- *防災研修(丹波篠山市介護サービス事業者協議会)：1月29日
- *通所サービス部会研修(丹波篠山市介護サービス事業者協議会)：2月21日

⑥ 消防訓練

9月14日(木)、3月21日(木)

(7) 居宅介護支援事業所

- ① 新規利用者数は17名(1か月平均1.4名)、中止の方は13名(1か月平均1.1名)であった。逝去される利用者よりもご家族の体調や住環境の変化、また入院を機に重度化が進むなどの要因で施設入所される方が多くあり、登録者は徐々に減少した。
- ② 定例会や「けあまネット」などに参加し、他事業所との連携や情報交換が積極的にできた。また、新型コロナが第5類に移行し、研修会なども開催されるようになり、参加できたことで資質向上に努めることができた。
- ③ 認知症高齢者世帯や独居、老々介護の世帯が徐々に増えてきている状況や家族がコロナに罹患し、サービスを控えてもらうなど自宅待機される利用者が多い状況であった。
- ④ サービス状況としては大きな変化はないが、介護度が上がるにつれ訪問系サービスが減少し、通所系サービスが徐々に増えてきている傾向で、さらに短期入所介護や通所リハビリテーションなどの割合も増加している状況である。

⑤ 月別実績状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
件数	60	59	61	56	52	53	54	56	53	51	49	51	655	54.6
軽度	42	41	43	43	38	38	37	37	34	33	33	34	453	37.8
重度	18	18	18	13	14	15	17	19	19	18	16	17	202	16.8
新規	2	0	2	0	0	3	2	2	0	1	2	3	17	1.4
中止	2	0	1	2	1	1	1	1	2	0	2	0	13	1.1
認定調査	3	6	4	5	2	3	3	3	3	3	3	2	40	3.3
申請代行	4	6	5	2	4	7	4	3	3	4	0	2	44	3.7

⑥ 外部研修、その他

4月	民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員・相談支援専門員との交流会
5月	多職種連携会議「この指と〜まれ」
6月	「災害時ケアプラン作成事業」に関する研修会
10月	駐在所・交番との意見交換会
12月	権利擁護・虐待防止研修会
1月	介護支援専門員&相談支援専門員合同研修①
2月	介護支援専門員&相談支援専門員合同研修②

(8) 地区いきいき塾（市よりの受託事業）

市受託事業として各地区のまちづくり協議会と協働で実施した。

*開催日：古市地区（毎週金曜日 午前）、味間地区（毎週火曜日 午前）
城南地区（毎週火曜日 午後）、雲部地区（毎週金曜日 午後）

（参加者状況）

地区名 回数 月	古市		味間		城南		雲部	
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
4	4	7	4	9	4	5	4	8
5	3	11	5	10	4	12	参加者なし	
6	4	9	4	7	4	9	4	8
7	4	7	4	7	4	12	4	9
8	3	8	4	9	4	8	3	6
9	5	9	4	9	4	7	5	7
10	4	12	5	11	4	10	2	7
11	3	8	4	10	4	5	3	6
12	4	12	4	11	4	9	4	6
1	3	10	4	9	4	8	4	6
2	3	9	4	8	4	8	2	6
3	5	9	4	11	4	7	5	6

6. 職員（令和6年3月31日現在）

(1) 職員数

（単位：人）

区分	正規	嘱託・契約	パート(社保加入)	その他非常勤等	計
女	26	5	10	22	63
男	24	2	0	5	31
計	50	7	10	27	94

(2) 入退職状況

入職者：正規職員6名、非常勤職員（パート等）5名

退職者：正規職員4名、嘱託職員2名、非常勤職員（パート等）4名

(3) 資格等（把握数）

① 看護、介護関係

（単位：人）

区分	看護職（正看）	介護福祉士
人数	11（6）	36

② その他、福祉関係等

社会福祉士、介護支援専門員、社会福祉主事、保健師、管理栄養士、栄養士、調理師、保育士、簿記、教員資格等

(4) 表彰・感謝関係

- ① 兵庫県看護功績賞（7月6日 兵庫県看護大会）
新川直美
- ② 兵庫県老人福祉事業協会（6月29日、定時総会時）
*会長表彰：三崎ちどり、永尾美加、生島恵美
- ③ 丹南厚生会理事長表彰（12月1日）
*やすらぎ園永年勤続：(30年) 畑由美子、(10年) 小島順子、佐々木勝広、竹田昂平

(5) 職員採用状況

- ① 年度内採用職員(正規職員)：6名(介護職4名、管理栄養士1名、事務職1名)
- ② 年度内退職者：正規職員4名(介護職4名 内1名外国人)、嘱託職員2名(事務職)
- ③ 外国人労働者の雇用
雇用人数：3名(男1名、女2名) 3月15日自己都合で1名退職
国籍：ベトナム社会主義共和国(全員)
登録支援機関：兵庫中央事業協同組合(丹波市)
四半期報告：出入国在留管理庁に4半期ごとに受入・活動状況に係る届出書を提出

7. 設備整備、修理・修繕等

(1) ルーフバルコニー他改修工事

本館南面西側の2階部防水工事、3階樋工事等改修・修繕工事を行った。

業者：吉住工務店(丹波市春日町)

工事価格：3,230,000円

(2) 大型洗濯機等の購入

老朽化に伴いユニットに大型洗濯機および乾燥機を購入した。

大型洗濯機(1,880,000円)、大型乾燥機(1,100,000円)

業者：(株)Lavo

8. 地域貢献活動及び各種団体等との連携

(1) 各種会議への参加

- ① 丹波篠山市介護サービス事業者協議会(定例会(毎月)、役員会、総会に参加)
- ② 丹波篠山市社会福祉法人連絡協議会(役員会、総会等に参加)
*総会及び研修会 7月14日(金) 丹波篠山市民センター
*社会福祉政策に関する要望書の提出及び意見交換会 11月22日(水) 市長公室
- ③ 丹波篠山市給食施設協議会
5月30日(火) 丹波の郷
- ④ 新型コロナ対策検討会への参画

⑤ 地区福祉会議

- *味間地区 2月25日(日) 健康福祉センター
- *大山地区 1月26日(金) 大山緑の会館
- *古市地区 2月10日(土) 古市コミュニティ消防センター
- *城南地区 2月17日(木) 城南コミュニティセンター

(2) 納涼祭の開催

新型コロナ感染防止のため、味間奥自治会と共催事業は昨年引き続き中止した。

(3) 丹波地域防災総合訓練(丹波篠山市サブ会場)

9月3日(日) 養護老人ホーム「和寿園」で開催された福祉避難所設置運営訓練に見学参加した。

(4) 地域行事等への参加

- ① 「丹波篠山市 つながろうフェスタ 2023」への参加、協力
9月24日(日) 丹南健康福祉センター他
*生活・福祉のお困りごとほっとかへん相談会、福祉施設紹介ビデオ等
- ② 丹波篠山市社会福祉協議会事業への協力
*福祉ジュニアカレッジ 7月31日(月) 市民センター
*ささっこ食堂送迎(7月25日~27日)(8月22日~24日)
(12月25日、26日、1月5日)
- ③ 認知症カフェへの参加
古市地区で開催される集いに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とならない限り参加した。
- ④ 味間地区行事(茶まつり)に参加
6月3日(土)
- ⑤ 介護人材確保・定着促進検討会への参加
10月11日(火) 丹波篠山市民センター
- ⑥ 味間奥自治会関係行事への参加
*第4福寿会総会 4月9日(日) 茶の里会館
*味間奥敬老祝賀会 9月18日(月・祝) 茶の里会館

(5) その他

- ① 実務者研修実習スクーリング会場提供(2クール、計14日)
- ② ワーキング丹波パン販売場の提供(概ね週1回)
- ③ 警察友援会、防火安全協会、交通安全協会への参画及び行事等への参加
- ④ やすらぎ園古市館を地域事業等へ場所提供
- ⑤ 介護支援相談専門員の訪問受け入れ(随時)